

平成25年第4回高山市議会定例会 一般質問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
9月9日(月)	1. 小井戸真人 議員	市 民 ネ ッ ト	1
	2. 倉田博之 議員	新 風 会	2
	3. 谷澤政司 議員	新 風 会	4
	4. 松山篤夫 議員	無 会 派	5
	5. 若山加代子 議員	無 会 派	6
	6. 山腰恵一 議員	高山市議会公明党	7
9月10日(火)	1. 中箴博之 議員	高山市議会公明党	8
	2. 佐竹稔 議員	高山市政クラブ	9
	3. 村瀬祐治 議員	高山市政クラブ	11
	4. 杉本健三 議員	高山市政クラブ	13

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【小井戸真人 議員】

1. 子どもの貧困対策の推進に関する法律について

(1) 法律の目的と高山市の状況

- ①法律の制定をどのように受け止めているか
- ②要保護及び準要保護児童就学援助費の支給の傾向と特徴は
- ③児童扶養手当の支給の傾向と特徴は

(2) 高山市における生活保護の状況

- ①生活保護受給者の状況は
- ②生活保護基準引き下げによる受給者への影響は
- ③受給者は基準の引き下げをどのように受け止めているか

2. 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について

(1) 制度導入の効果と課題

- ①制度導入の目的は
- ②市民生活への影響は
- ③制度導入における課題は
- ④個人情報の保護に関して心配する声があるが、その対応策は

3. 住民基本台帳カードについて

(1) 現状と課題

- ①高山市の普及率と利用状況は
- ②コンビニエンスストアにおける証明書等の自動交付の考えは

4. 情報公開日本一について

(1) 日本一に向けた取り組み

- ①高山市の情報公開度はどれくらいの位置付けであると考えられるか
- ②日本一に向けた今後の課題は

【倉 田 博 之 議員】

1. 岐阜県水源地域保全条例と高山市の対応について

(1) 高山市の役割

①当条例の運用において、高山市はどういった役割を担うことになるのか

(2) 指定地域の土地所有者と高山市の関わり

①土地所有者にはどういった影響があるのか

②土地所有者にはどういった特典があるのか

③維持や保全のための費用負担などはどうなのか

④所有者への説明や理解の取り付けなどは十分に行われているのか

⑤売買の可否は何を持って判断するのか

(3) 当条例が有効な運用となるための懸念材料と、その対応策についての市の考え方は

①指定地域内の開発行為に対し事前チェックの体制は

②地下水の適正な採取についての監視体制は

③違反者や非協力者に対する対応についての考え方は

④届出後に条例目的に沿った対応を行う期間についての考え方は

⑤指定地域以外の水源地域における保全についての考え方は

(4) 水源地域の公有地化

①水源地域の公有地化を計画的に図っていくべきではないか

(5) 水源保全のための高山市の方向性

①当条例を基に、さらに網羅的・複合的な高山市独自の条例を策定する必要はないか

2. 市有施設のさらなる節電推進とエネルギーコストの削減対策について

(1) 「電力のピークカット」についての対策

- ①職員努力や機器の省エネ運転は限界。電力使用監視システム導入などの対策が必要ではないか

(2) 「E S C O事業」についての考え方

- ①民間資金やノウハウを活用した省エネの包括的サービス事業の導入について、積極的に取り組んでいくべきではないか

【谷 澤 政 司 議員】

1. 高山市の市町村合併について

(1) 合併後8年間の状況と今後の取り組み

- ①支所地域の人口・高齢化などの移り変わりは
- ②人口減少が進行する中、近隣支所と連携した地域振興の取り組みは
- ③地域振興特別予算は平成26年度で終了するが、これまで高山地域には無かった状況をふまえ、市全域における平成27年度以降の地域振興に対する取り組みについてはどのように考えているのか

2. 高山駅周辺土地区画整理事業について

(1) 市民と協働の取り組みの考え

- ①駅舎と駅前広場の設計内容に対する市民の反応及び今後の市民への情報提供は
- ②駅舎と自由通路の市の事業費負担41億3,300万円余りの財源と年度計画は
- ③シビックコア（国の合同庁舎）については、計画を策定してから10年以上経過しており、その間要望は続けている。国土交通省では建設費の予算要求の動きはないと聞いている。これまでの経過と進捗状況は
- ④平成29年度事業完了予定の中で、シビックコア予定地4,100㎡の利活用の方針を決断しなければならないが、その考えは
- ⑤シビックコアが断念せざるを得ない時、頓挫した健康増進スポーツ施設（温水プール）を含めた有効活用を検討する考えは

(2) 他の公共事業に対する影響

- ①地方交付税や市民税収入等の著しい減少が予想される中、高山駅周辺整備のような著大事業が、財政的に他の公共事業の発注に及ぼす影響はどうなるのか

【松 山 篤 夫 議員】

1. 清酒の普及促進策について

(1) 「清酒で乾杯を推進する条例」の制定

- ① 「清酒で乾杯」条例を制定し、清酒（地酒）による乾杯の習慣を広め、酒造業その他関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図る考えは

2. 「飛騨国府駅」の駅舎保存について

(1) 登録有形文化財の申請

- ① 昭和初期の標準的な駅舎の姿を今に伝える地域の大事な財産として、国の登録有形文化財としての登録申請に向けての取り組みは

3. 観光戦略について

(1) 外国人観光客の動向と受け入れ対策

- ① 外国人観光客の入込み状況は
- ② イスラム圏からの観光客受け入れ対策の現況は
- ③ 外国人宿泊客30万人誘致への戦略は

(2) 観光と「飛騨高山ブランド」物品販売の連結策

- ① 「昇龍道プロジェクト」で食材を売り込み、海外にその魅力を発信し、誘客につなげるための方策への見解は

(3) 着地型旅行造成事業委託業務の進捗状況

- ① どのような提案があり、どのように決定したのか

(4) エコツーリズムの推進

- ① 乗鞍山麓五色ヶ原の森が3月にエコツーリズム大賞優秀賞を受賞したが、五色ヶ原のような登山散策のコースを新たに開設できないか

【若山加代子 議員】

1. 低所得者の生活を守る市政について

(1) 福祉灯油制度の実施

- ①福祉灯油制度を実施すべきと思うが市の考えは
- ②低所得者の冬の暮らしを支えるために、恒久的な制度にすることは検討できないか

(2) 生活保護基準の引き下げによる市民生活への影響

- ①生活保護受給世帯への影響は
- ②生活保護基準を目安とする制度への影響は
- ③市民生活への影響を最小限にするための対策は

2. 子育て支援について

(1) 子ども・子育て支援新制度による影響

- ①保育園入園のためには保育認定が必要と聞いているがその内容は
- ②保育時間が園児によってバラバラになる可能性はないか
- ③保育園が認定こども園に移行した場合、何が変わるのか
- ④子どもたちの育ちを保障する保育の実施が必要ではないか

【山 腰 恵 一 議員】

1. 次世代自動車「EV・PHV」について

(1) 普及に向けた取り組みと活用

- ①「EV・PHV」導入の現状と中長期計画は
- ②充電インフラ整備の状況と中長期計画は
- ③近隣市村（飛驒市、下呂市、白川村）との連携は
- ④民間企業への一般開放型急速充電器設置補助の創設の考えは
- ⑤観光モデル実証実験の取り組み状況は

2. 障がい者の就労について

(1) 雇用の現状と取り組み

- ①法定雇用率改正後の民間企業の現状と課題は
- ②未達成企業への取り組みは
- ③本市職員の雇用率と雇用の取り組みは
- ④指定管理者の雇用の現状と促進について
- ⑤義務化されていない民間企業の雇用把握は

(2) 就労支援事業所（知的・精神）就労支援

- ①授産事業所で作られた製品の公共施設での展示や販売促進は
- ②一般就労の現状と課題は
- ③一般就労へ向けてのサポート体制と職域の拡大は
- ④本庁舎内で軽作業する「働く場」の開設を

(3) 障害者優先調達推進法施行後の取り組み

- ①物品調達方針の策定と公表は
- ②各部局による全庁的な取り組み状況は

(4) 障がい者等駐車スペースの確保

- ①パーキングパーミット制度（思いやり駐車場）導入の考えは

3. 子どもの「インターネット依存」について

(1) 子どもの影響と予防対策

- ①「ネット依存」による子どもの影響は
- ②情報教育などの予防対策が必要では

【中 箴 博 之 議員】

1. 市役所の活性化について

(1) 若手職員が元気な市役所

- ①職員の主體的な研修・研究の促進は
- ②元気な市役所づくりに取り組まないか

2. こころの健康について

(1) 国の自殺総合対策大綱見直しへの対応

- ①ゲートキーパー養成の考え方は
- ②相談・受診につなげるストレスチェックのシステムを導入しないか

3. 水道事業について

(1) 公営企業法改正と経営統合

- ①公営企業法改正と経営統合に伴う影響は
- ②水道料金への影響は

(2) 水道事業における危機管理

- ①水源の保全に対する方針は
- ②水道事業における危機管理体制は

(3) 水道の指定管理

- ①指定管理制度8年間の評価は
- ②指定管理者募集の考え方は
- ③民間の力をどう活かすのか

【佐 竹 稔 議員】

1. 新穂高の駐車場対策について

(1) 観光客専用駐車場の整備

- ①現在稼働している有料駐車場は、何台収容できるのか
- ②ランドデザインの構築の中で駐車場の整備は、どのように検討されているか
- ③現在建設中の「仮称：新穂高総合センター」前の一段低い駐車場を、景観を損なわないような組み立て式の二階建てにできないか
- ④新穂高溪流保全工の工事が完了後、天場（上部）を駐車場敷として使用する考えは

(2) 登山者専用駐車場の整備

- ①登山者専用の駐車場を増設する考えは
- ②左俣、右俣谷合流点の高山森林管理所所管の旧キャンプ場を登山者専用駐車場敷として市が借用して、活用する考えは
- ③市道「蒲田左俣線」等の路上駐車解決策をどのように考えているか

2. 酒蔵ツーリズムの推進について

(1) 飛騨地酒ツーリズムの企画

- ①企画には、酒蔵見学するだけでなく「地酒を味わう」ようなことも含まれているのか
- ②本年度実施予定のモニターツアーの進捗状況は。また旅行業者との連携は
- ③協議会は、3市1村で設立しているが、どの市・村との酒蔵（酒造会社）組合と観光協会等の組み合わせでも企画ができるのか
- ④海外観光客誘致に向け、どのような企画をしているのか

3. 飛驒市民病院の維持体制の支援協力について

(1) 医師招聘・確保の支援協力

- ①飛驒市民病院の存在の重要性を認識しているか
- ②飛驒市との連携を図りながら「飛驒市民病院」の医師招聘・確保等の支援協力対策を早急に検討・実施する考えは

4. 国民健康保険料について

(1) 国民健康保険事業の運営の県移行

- ①国民健康保険事業の運営が県に移行された場合の高山市の現行年平均保険料は

【村 瀬 祐 治 議員】

1. 財政計画について

(1) 交付税の合併特例と市税

- ①交付税の合併算定替えと一本算定との差について算定費目別の内訳は
- ②労働人口減少や団塊の世代の退職など、市民税の減額の見通しは幾らになるのか
- ③合併後15年で財政措置が終わる。平成31年度以降の高山市の歳入予算額は幾らになるのか
- ④平成27年度以降、交付税算定額が段階的に縮減されるなか地域振興にかかる予算についての影響額はどのようになるのか
- ⑤平成27年度以降、交付税算定額が段階的に縮減されるなか投資的経費などについての影響額はどのようになるのか

2. 人口減少と高齢化に伴う町内組織について

(1) 協働のまちづくり

- ①協働のまちづくりは、市民全員を対象としていると考えるが、高山地区の町内会加入率は低い。町内会に加入していない方への対応はどのように考えているのか
- ②町内会への加入促進支援の考え方は

(2) 災害時要援護者支援計画

- ①災害時要援護者を町内の班レベルで支援するとなっているが、市内282町内会中、25世帯以下が25% 50世帯以下が25%と、半数の町内会は世帯数が少なく、高齢化が進んでいる。支援体制ができない町内についての考え方はどうなのか
- ②町内単位とは別の考え方はないのか

3. 中学校の部活について

(1) 新中学校学習指導要領

- ①平成24年度から実施されている新学習指導要領に、部活動が教育の一環として位置付けられたが、具体的な取り組みはどのようになされているのか
- ②部活運営・指導について各種団体との連携は、どのように取り組まれているのか
- ③外部指導者に、事故があった場合どのような補償内容なのか

(2) 部活の休部・廃部・新設の基準

- ①部活の休部・廃部・新設はどのような基準になっているのか
- ②各学校長の判断なのか、教育委員会の判断なのか、どのような経緯で決定するのか

(3) 少子化と生徒のニーズに対する部活動のあり方

- ①部活動における個人のニーズが多様化している。一方、支所地域では少子化などにより部活が限定され、希望する部活が選択できない。複数校合同部活動・拠点校部活動についての現状とこれからの方針は

(4) 部活動への補助金

- ①中学校には部活補助金として、1部当たり15,000円交付されている。部員数が1人でも89人でも同額である。高山市補助金交付規則に則った運用であるのか

【杉 本 健 三 議員】

1. 望ましい景観の維持について

(1) 新宮町の景観に配慮したコンビニエンスストアの出店

- ①今年開店したコンビニエンスストアについて高山市は関与されたのか
- ②地域にまちづくりの会があれば高山市として行政指導ができるのか
- ③こうした地域の拡大はどう考えているか

2. 飛驒高山ウルトラマラソンについて

(1) ウルトラマラソンの内容

- ①ウルトラマラソンの参加料は高すぎないか。何を基に決められたのか
- ②過酷なレースコースなのに参加者が多いのはなぜか
- ③この大会で100キロメートルと72キロメートルに出場され、完走された女性は何名いたのか。また全体での完走率はどうだったのか
- ④飛驒高山ウルトラマラソンは高い評価を受けているようだが、これをどう受け止めているか
- ⑤市民の多くの方々にボランティアと協力していただいたが、この活動を金額に換算するといくらになるか
- ⑥國島市長はゴールされた人にどんな気持ちで握手をされたのか
- ⑦経済効果はいくらだったか

(2) 市民へのPR

- ①市民へのPRはどのようにしたのか
- ②ウルトラマラソンだけでなく、他の事業などもPRするにはCATV事業は重要である。この事業で旧高山市の加入率を増やせないか
- ③CATVを早急に全市域に整備できないか

(3) 今後の方向性

- ①この大会のさらなる拡大はあるのか